

## 「鍼灸学専攻大学院生の鍼灸学研究に対する意識調査 ～日本の場合～」

嶺 聡一郎<sup>1)</sup> 伊藤和真<sup>1)2)</sup> 根岸とも子<sup>3)4)</sup> 箕輪政博<sup>3)5)</sup> 形井秀一<sup>5)</sup>

1)名古屋医専、2)京都大学大学院人間・環境学研究科、

3)首都大学東京大学院 都市環境科学研究科、

4)日本医学柔整鍼灸専門学校、

5)筑波技術大学保健科学部

### 【はじめに】

近年、伝統医学の再評価や補完代替医療としての意義付けが世界的に行われている。

東洋医学においても WHO/ WPRO による経穴部位、用語の標準化が行われ、また、東洋医学そのものの国際標準化が ISO で議論の俎上に乗せられていることも、周知の事実である。いわば、鍼灸も国際化という局面に対してしているといえる。

このような世界的な流れの中で、現代社会において鍼灸はどのように位置付くかを改めて捉え直す必要があると考えられる。

その一端として、教育、研究における鍼灸の現状を把握するため、鍼灸学を研究する各国の高等教育機関の学生が、鍼灸学に対してどのような意識を持っているかを調査する必要がある。

社会鍼灸学研究会では、教育、研究における鍼灸の現状を把握し、鍼灸学を研究する各国の高等教育機関の学生がどのような研究活動を行っているのか、また、鍼灸学に対してどのような意識を持っているかを調査することで現代社会における鍼灸の位置付けの一端を明らかにする試みを行っている。

今回その試みの端緒として、本邦の鍼灸学専攻大学院生の鍼灸学研に対するアンケート形式による調査を実施した。

### 【目的】

鍼灸学を専攻する我が国の大学院生の研究活動とその意識を明らかにする。

### 【対象】

本邦最初の鍼灸高等教育機関を開設した大学の大学院修士課程2年生16名。

### 【方法】

質問紙法によるアンケートの一斉実施と、その結果の単純集計を行った(質問紙は次ページの通り)。

### 【結果】

単純集計から、特徴的と考えられる以下のような結果が得られた。

#### 1. 鍼治療の効果

鍼治療についての効果があるかについては、「そう思う」、「まあそう思うという」回答を合わせ、全員が疑義をもっていなかった(質問 B-2 表.1)。

その効果があると答えた根拠としては、患者、乃至は自己の治癒経験が多く挙げられている(質問 B-4 表.2)。

表1. あなたは鍼治療は効果があると思いますか。(n=16)

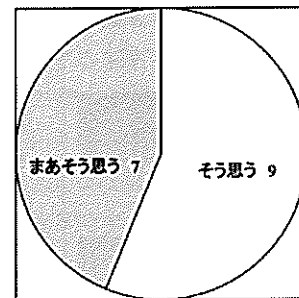
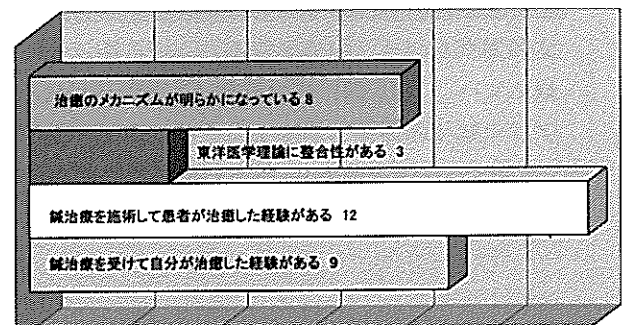


表2. そう思う、まあ思うと答えた理由はなぜですか。(n=16 複数回答可)



A【医療に関する基本的事項】

A-1. あなたはなぜ医療分野を選びましたか。(〇はひとつだけ)

	そう思う	まあ思う	あまり思わない	思わない
1. 社会的考分が高い。	1	2	3	4
2. 収入が多い。	1	2	3	4
3. 医療を通して社会に役立つ。	1	2	3	4
4. 尊敬される仕事である。	1	2	3	4
5. 楽しい仕事である。	1	2	3	4
6. 人にすすめられた。	1	2	3	4
7. その他【具体的に: _____】				

A-2. あなたは専門分野を研究する際、現代西洋医学の観念に立脚していますか、それとも東洋医学の観念に立脚していますか。(〇はひとつだけ)

1. 現代西洋医学の観念 → A-1にお読みください。  
2. 東洋医学の観念 → A-1にお読みください。  
3. その他【具体的に: \_\_\_\_\_】 → A-5にお読みください。

A-3. あなたはなぜ自分の専門として現代医学の観念(日本の場合、「現代医学的観念」と呼ぶ)を選びましたか。(〇はひとつだけ)

	そう思う	まあ思う	思わない	思わない
1. 東洋医学より優れている。	1	2	3	4
2. 東洋医学に無い良さがある。	1	2	3	4
3. 東洋医学を補完するから。	1	2	3	4
4. 西洋医学の思想が好きである。	1	2	3	4
5. 科学的医学である。	1	2	3	4
6. 卒業を期したためである。	1	2	3	4
7. 医師になれなかったから。	1	2	3	4
8. 医師以外の医療従事者になれなかったから。	1	2	3	4
9. その他【具体的に: _____】				

A-4. あなたはなぜ自分の専門として東洋医学の観念(日本の場合、「東洋医学的観念」と呼ぶ)を選びましたか。(〇はひとつだけ)

	そう思う	まあ思う	思わない	思わない
1. 西洋医学より優れている。	1	2	3	4
2. 西洋医学に無い良さがある。	1	2	3	4
3. 西洋医学を補完するから。	1	2	3	4
4. 東洋医学の思想が好きである。	1	2	3	4
5. 長い歴史のある医学である。	1	2	3	4
6. 卒業を期したためである。	1	2	3	4
7. 医師になれなかったから。	1	2	3	4
8. 医師以外の医療従事者になれなかったから。	1	2	3	4
9. その他【具体的に: _____】				

A-5. あなたはなぜ自分の専門として「その他」を選びましたか？(自由に記述して下さい)

[ \_\_\_\_\_ ]

ここからは会員の方にお聞きします

A-6. あなたが主に研究している対象は何ですか？(〇はいくつでも)

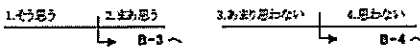
- 鍼灸 灸 漢方 経絡 手技療法 現代薬 外科治療 古典文献  
その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

B【鍼に関する基本的事項】

B-1. あなたは東洋医学の中で鍼と湯液のどちらが効果的治療と考えていますか。(〇はひとつだけ)

1. 鍼  
2. 湯液(漢方薬)  
3. 両方  
4. 両方とも有効ではない。  
5. 患者(疾患)により異なる。

B-2. あなたは鍼治療は効果があると思いますか。(〇はひとつだけ)



B-4. (そう思う)(まあ思う)と答えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 西洋医学的に治療のメカニズムが明らかになっている、または明らかになるにつつあるから。  
2. 東洋医学理論に整合性があるから。  
3. 鍼治療を施行して患者が治療した結果があるから。  
4. 鍼治療を受けて自分が治療した経験があるから。

B-5. (あまり思わない)(思わない)と答えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 西洋医学的に治療のメカニズムが明らかではない、または明らかになる見通しが無いから。  
2. 東洋医学理論に整合性がないから。  
3. 鍼治療を施行して患者が治療した結果がないから。  
4. 鍼治療を受けて自分が治療した経験がないから。

ここからは会員の方にお聞きします

B-6. あなたが行っている治療法は何ですか。(〇はいくつでも)

毫鍼療法	梅花鍼療法	三伏鍼療法	皮内鍼療法	皮膚針療法	環鍼療法
耳鍼療法	手鍼療法	足鍼療法	腹鍼療法	絡鍼療法	穴井注射療法
鼻鍼療法	鎖骨鍼療法	小児鍼療法	電鍼療法(パルス通電)		

B-7. あなたが行っている鍼治療の治法についての理論的根拠は何ですか。(〇はひとつだけ)

番号に〇をつけて、その理論を( )内に入力して下さい。

1. 中国古典に基づいた理論( )  
2. 西洋医学に基づいた理論( )  
3. 伝統医学に基づいた理論( )  
4. その他 ( )

B-8. あなたは西洋医学に比して鍼治療の効果はあると思いますか。(〇はひとつだけ)

1. 西洋医学以上の効果がある。  
2. 西洋医学と同等の効果がある。  
3. 西洋医学より効果が高い。  
4. 患者や疾患により異なる。

C【研究に関する事項】

C-1. あなたの現在または、将来の研究分野と具体的な研究テーマは何ですか。

番号に〇をつけて、その理論を( )内に入力して下さい。

1. 基礎医学分野( )  
2. 臨床医学分野( )  
3. 社会医学分野( )  
4. その他分野( )

C-2. あなたがそのテーマを研究する理由を答えてください。(〇はいくつでも)

1. 臨床医学の体系を完成させるため。  
2. 自国の医学の発展に貢献するため。  
3. 国民の健康に資するため。  
4. 鍼の治法メカニズムを明らかにするため。  
5. 世界人類の健康のため。  
6. 持続可能な社会を実現するため。  
7. その他( )

C-3. あなたは今の研究環境に満足していますか。(〇はひとつだけ)

1. はい  
2. いいえ

C-4. あなたの研究環境に足りないと思うものに〇をつけて下さい。(〇はいくつでも)

1. 資金 2. 設備・施設 3. 人材 4. 指導・助言 5. 情報・文献・資料  
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)  
7. 特になし

C-5. あなたは今後の鍼について、どのようなことが研究されるべき課題と考えますか。

(〇はいくつでも)

1. 基礎医学(具体的に: \_\_\_\_\_)  
2. 臨床医学(具体的に: \_\_\_\_\_)  
3. 社会医学(具体的に: \_\_\_\_\_)  
4. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

Q【鍼治療の今後について】

D-1. あなたは将来、どのような進路を希望しますか。(〇はいくつでも)

- |             |        |             |                |           |
|-------------|--------|-------------|----------------|-----------|
| 1. 研究者      | 2. 教育者 | 3. 教育者かつ研究者 | 4. 医療機関勤務      | 5. 独立して開業 |
| 6. 医療関係の経営者 | 7. 公務員 | 8. 政治家      | 9. その他(具体的に: ) |           |

D-2. 今後の自国における鍼治療は、どのように社会で認識されていくのがよいとあなたは思いますか。(〇はいくつでも)

1. 一般的な医療行為として認識されるのがよい。
2. 特色のあるいは代替的医療行為として認識されるのがよい。
3. 伝統的医療行為として認識されるのがよい。
4. 西洋医学のカウンターメディシンとして認識されるのがよい。
5. 医療行為として認識されないのがよい。
6. その他( )

D-3. 医療行為として鍼治療が認識される場合、西洋医学に比して社会的にはどのような位置付けになるべきだと思いますか。

1. 西洋医学より受け入れられているべき。
2. 西洋医学と同様に受け入れられているべき。
3. 西洋医学より受け入れられるべきではない。

D-4. 今後鍼治療の立場は、西洋医学に比して、どのように認識されるべきだと思いますか。

1. 西洋医学より高い治療効果があると考えられているべき。
2. 西洋医学と同様の治療効果があると考えられているべき。
3. 西洋医学より低い治療効果があると考えられているべき。
4. その他( )

D-5. あなたの国では今後、誰が鍼治療を望むのがよいと思いますか。(〇はひとつだけ)

1. 西洋医学の医師が鍼治療を望む。
2. 医師以外の西洋医学従事者が鍼治療を望む(看護師など)。
3. 鍼専門医療系(例、鍼灸師、中医師)が鍼治療を望む。

4. その他 (具体的に: )

D-6. あなたは自国の鍼治療実態等を知っていますか。(〇はひとつだけ)

1. 知らない
2. 知っている(鍼灸率は %)

D-7. あなたは今後鍼治療は、グローバルスタンダードに基づく治療法に統一する方向がよいと考えますか。(〇はひとつだけ)

- |         |         |            |         |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. そう思う | 2. まあ思う | 3. あまり思わない | 4. 思わない |
| → D-8 へ |         | → D-9 へ    |         |

D-8. (そう思う)(まあ思う)と答えた理由は何ですか。(〇はひとつだけ)

1. ある国の基準に統一する方向がよい。
2. 特定の国に依らず、グローバルスタンダードを確立する方向がよい。
3. その他 (具体的に: )

D-9. (あまり思わない)(思わない)と答えた理由は何ですか。

1. それぞれの国のやりかたを尊重する方向がよい。
2. グローバルスタンダードを確立することが困難である。
3. その他 (具体的に: )

--- ここからは会員の方にお問巻します ---

E【基本的属性・夢】

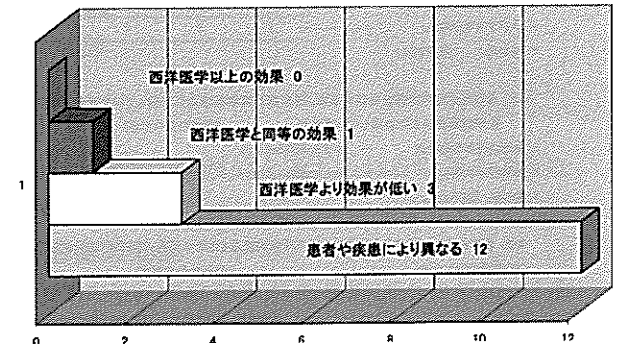
- E-1. あなたの年齢 ( )歳  
 E-2. あなたの性別 女・男  
 E-3. あなたの臨床経験年数 ( )年  
 E-4. 大学入学前の職業を教えてください。(〇はひとつだけ)  
 ・大学生 ・鍼灸師 ・一般企業就職 ・公務員 ・その他( )  
 E-5. あなたの学業はどのように進んでいますか。(〇はいくつでも)  
 ・保通者 ・打書 ・教授 ・アルバイト ・奨学金 ・その他( )  
 E-6. あなたの夢について自由に記述してください。

2. 西洋医学との効果の比較

西洋医学に比した場合の鍼治療の効果については、患者や疾患によるとの考えが多くなっている

(質問 B-8 表.3)。

表3. あなたは西洋医学に比して鍼治療の効果あると思いますか。(n=16)



3. 研究課題

現在、または将来の研究分野としては基礎、臨床分野が大半を占めているが、社会医学分野も皆無ではない(質問 C-1 表.4)。

また、今後研究されるべき課題としては、やはり基礎医学分野、臨床医学分野が多く挙げられていますが、社会医学分野についても現在の研究テーマに比して、数は増えている(質問 C-5 表.5)。

表4. あなたの現在または、将来の研究分野と具体的研究テーマは何ですか。(n=16 複数回答可)

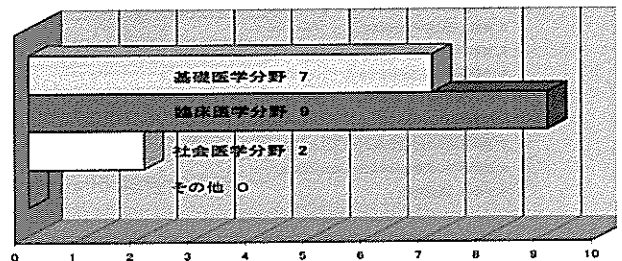
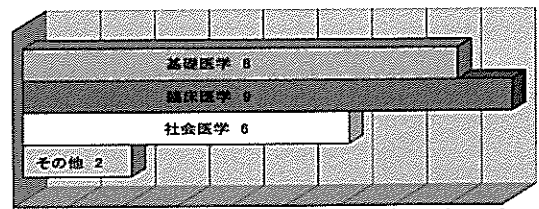


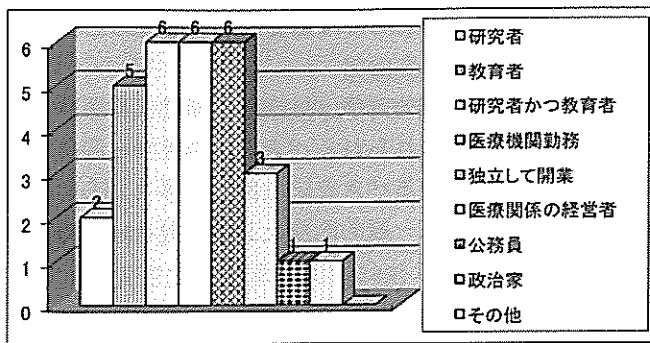
表5. あなたは今後の鍼について、どのようなことが研究されるべき課題と考えますか。(n=16 複数回答可)



4. 希望する進路

将来の進路については、教育、研究、開業による臨床従事がほぼ同じ程度に希望されている(質問 D-1 表.6)。

表 6.



### 5. 鍼治療に対する認識

今後の鍼治療についての自国での認識については、「一般的な医療行為」、あるいは「補完代替的な医療行為」として認識されるのが好ましいとの回答が多く挙げられた。「伝統的医療行為」として、という回答も含めると、医療行為として認識されることが望ましいとの回答が大半だった(質問 D-2 表.7)。

また、西洋医学に比して、医療行為としての鍼治療の社会的位置付けについては、「西洋医学と同等に受け入れられるべき」という回答が大半だった(質問 D-3 表.8)。

西洋医学の治療効果に比して鍼治療の効果についてどのように認識されるべきかについては、「西洋医学と同等」、「西洋医学より治療効果は低い」と認識されるべきと、意見が分かれた反面、「その他」として疾患や患者によるという回答がそれらよりも多く挙げられた(質問 D-4 表.9)。

表 7. 今後の自国における鍼治療は、どのように社会で認識されていくのがよいとあなたは思いますか。(n=16 複数回答可)

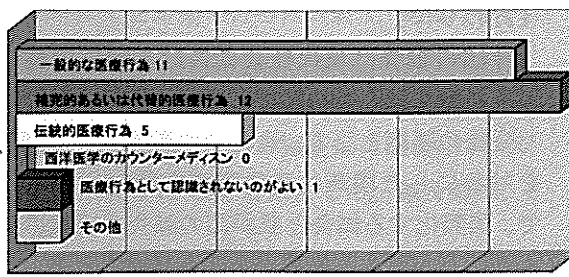


表 8. 医療行為として鍼治療が認識される場合、西洋医学に比して社会的にはどのようなべきだと思いますか。(n=16)

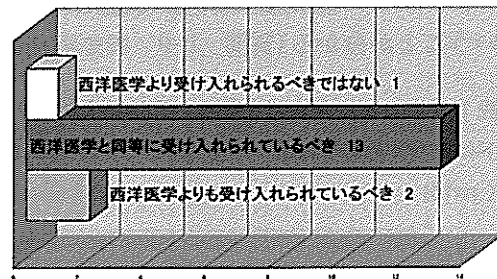
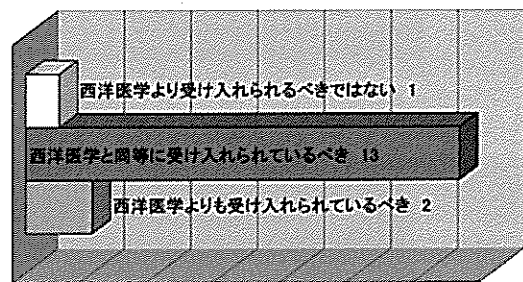


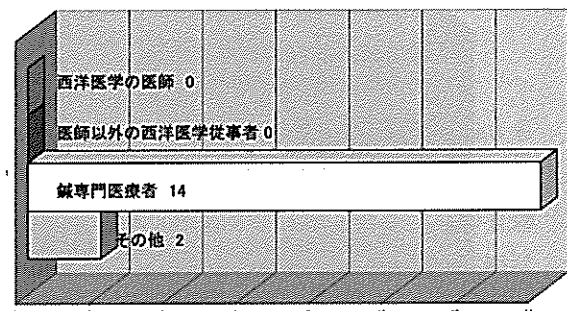
表 9. 今後鍼治療の効果は、西洋医学に比して、どのように認識されるべきだと思いますか。(n=16)



### 6. 鍼治療の担い手

今後の鍼治療の担い手については、他の医療職ではなく鍼治療の専門家が担うべきとの回答が殆どを占めた(質問 D-5 表.10)。

表 10. あなたの国では今後、誰が鍼治療を担うのがよいと思いますか。(n=16)



### 7. 鍼灸のグローバルスタンダード化

今後の鍼治療についてのグローバルスタンダード化については、半数以上が賛成と回答した(質問 D-7 表.11)。

グローバルスタンダード化に賛成したうち過半数以上が、特定の国のメソッドに拠らないことが望

ましいと回答している(質問 D-8 表 12)。

一方、グローバルスタンダード化に否定的な見解について、それぞれの国のメソッドを尊重すべき、スタンダライズが困難など、その理由は様々であるということが分かる(質問 D-9 表 13)。

表 11. あなたは今後鍼治療は、グローバルスタンダードに基づく治療法に統一する方向がよいと考えますか。  
(n=16)

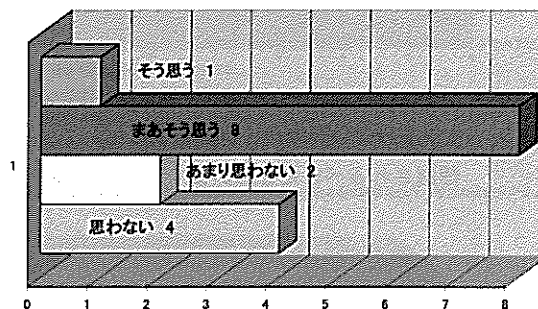


表 12. そう思う、まあ思うと答えた理由はなぜですか(n=16)

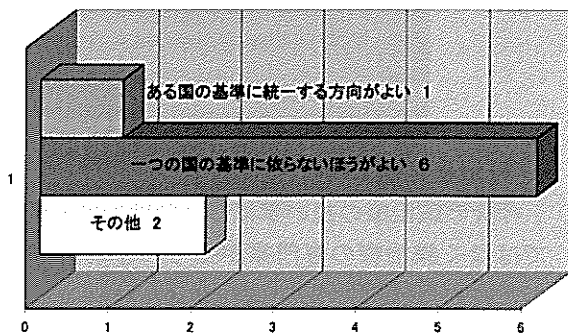
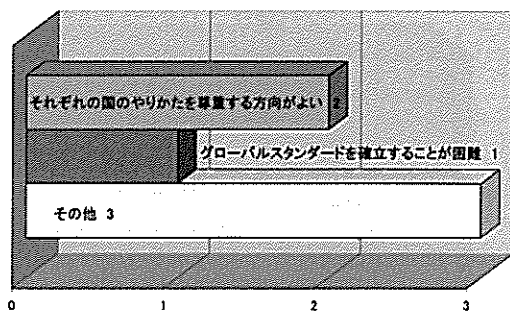


表 13. あまり思わない、思わないと答えた理由はなぜですか。(n=16)



### 【考察】

以上の結果から、大学院生の鍼灸研究についての意識において、鍼治療の効果の根拠は学問的理解だけではなく自己の経験も大きく影響しており、また、疾患や患者により効果が異なるとの回答からは、無批判にどのような疾患にでも鍼治療の効果があるとは考えていないことが示唆されていると言える。

また、現時点での研究分野としては基礎・臨床医学が多いが、将来的には社会医学的研究の必要性が認識されている。

鍼治療が一般的医療、あるいは補完代替医療として社会に受け入れられるべき、西洋医学と同等に受け入れられているべきという回答の多さからは、現時点で鍼治療は一般的医療として、あるいは西洋医学と同じ様には社会に受け入れられていないという認識が伺える。同時に、鍼専門医療者が今後の鍼治療を担うべきという回答の多さから、西洋医学とは異なる専門医療分野としての認識が存在していることが示唆される。

鍼治療のグローバルスタンダード化については賛成が多いが、賛否に関わらず一つの国の方法に拠らないこと、それぞれの国の独自の方法が望ましいという回答がみられることから、鍼治療には国によって方法論が異なり、唯一の方法論があるわけではないと認識されていることが示唆される。

### 【結論】

今回の調査からは、本邦の鍼灸学専攻大学院生において鍼治療の効果は学問的理解と自己経験から確信されているが、その効果は疾患や患者により異なるという認識が多いことがわかる。

現在の研究は基礎、臨床分野が多いが、将来的には社会医学的研究の必要性が認識されている。

また、鍼治療は現在の日本社会では一般的医療として受容されていないと考えていないが、西洋医学とは異なる専門的医療として認識されている。

鍼治療のグローバルスタンダード化が必要という認識は多いが、その方法論は唯一ではなく国により異なると考えられていることが示唆された。

### 【おわりに】

今回の調査は現代社会における鍼灸治療の位置づけを探る試みの一部である。

今後の課題として、他の国の高等教育機関の学生を対象にした横断的意識調査を行い比較することで、国際化する鍼灸と我が国の鍼灸の現状の一端をより明らかにする必要があると考えられる。

今回の調査にあたりご協力いただいた明治国際医療大学鍼灸学研究科の方々と篠原昭二教授に深くお礼を申し上げます。